

文語日誌(平成二十六年九月九日)

オーディオブックなるもの、我が國にては高價格なることも之ありて永らく普及せざりし處、漸くブームの訪れつつあるかに見ゆるは嬉し。

①「CDブック 聲に出して讀みたい日本語」(草思社、二〇〇三年刊)

出演陣は平野啓子氏、小林薫氏、觀世壽夫氏、天台宗聲明研究會など豪華にして、とりわけ冒頭の市川龜治郎(當時)の白浪五人男のセリフ「知らざあ言つて聞かせやせう」は非常なる迫力あり。テキストの選擇も適當かつ多彩。著者は齋藤孝明治大學教授、四月よりTBSテレビ朝の情報番組司會者も務むる人物なり。

②「清盛と平家物語」CDブック(朝日出版社、二〇一一年刊)

大河ドラマ「清盛」の放送にタイミングを合せて編集せられたる由。いはゆる名場面ほぼ網羅せらる。早速敦盛最期の場面を聞きたるところ、加賀美幸子氏の朗讀は氣品あり。

③ CD「文化を聴く 自作朗讀の世界」二〇一一年

日本コロムビア創立百周年記念として發賣せらる。北原白秋、與謝野晶子、萩原朔太郎、室生犀星、佐藤春夫、高濱虚子、釋超空、齋藤茂吉らの肉聲を聴くことを得。當に文化遺産とこそ言ふべけれ。

④ CDブック 新裝版「音讀革命」七田 眞著 二〇〇八年

副題は「右腦が開花する名文集」。暗唱すべき漢詩(江南の春、偶成、春望、春曉等)、論語、古典文學、近代文學、通常スピードのほか、二倍速、三倍速にても收められたり。暗唱によりて、記憶力・想像力高まり、ぼけ防止効果もある由なり。湯川秀樹らも幼児期に四書五經の素讀を行ひし結果、頭の太いに鍛へられしといふ。七田式は全國に教室を持ち教育活動に努めたるらし。

⑤ オーディオブック「先見と行動」、「立志の作法」、「徳育と實業」、「國富論」パンローリング社、二〇一二年

合計二十二枚のCDに澁澤榮一の名著「青淵百話」収録せらる。將來眼衰へ讀書困難となりたる際には良き助けとなるらむ。

⑥ オーディオブック「武士道」パンローリング社、二〇一四年

新渡戸稻造の名著「武士道」のエッセンス、CD六枚組にて一六二〇圓なるは格安と覺ゆ。

⑦ CDブック「くちずさみたくなる名詩」下重曉子著・朗讀、海龍社、二〇〇四年

アマゾンにて中古のCD未開封のものをば購入す。下重氏自身の關心を有する名詩並び居り、朗讀・解説にも情熱感ぜしむ。

⑧ 三省堂「全譯讀解古語辭典第三版」附録CD

代表的古典文學作品のさはり、朗讀せらる。最新版の第四版には附録CD無ければ、注意の程。

⑨ 三省堂「現代短歌大事典普及版」附録CD

與謝野晶子、啄木、白秋、山川登美子、茂吉、牧水、岡本かの子の和歌を平野啓子の名調子にて聴くことを得。

⑩ 三省堂「美しい日本の名文・名詩・名歌」暗誦用CDつき(二〇〇二年刊)

古典文學、詩歌、和歌、俳句、漢詩の代表的なる作品網羅的に収録せらる。解説文も萬全なれば、推奨に價す。絶版の可能性あり。

⑪ 松平定知朗讀『サライ』が選んだ名作集第五集「論語」CD(小學館、二〇一二年刊)

松平氏曰く、朗讀は作品に書かれたる作者の思ひを読み取り自分の中にて咀嚼し相手の心に傳ふる作業なり、と。氏の朗讀、これぞ朗讀との安定感拔羣にて味はひ殊更に深き。

⑫ 詩吟ベスト(ユニバーサル、二〇一〇年發賣)CD二枚組

頼山陽の「鞭聲肅々」、「靜御前」、「本能寺」、乃木希典の「金州城下作」、菅原道眞の「九月十日」ほか著名なる作品、綺羅星の如く収録せらる。

⑬ 岩波書店「聲でたのしむ美しい日本の詩」大岡信・谷川俊太郎編(一九九〇年刊)

和歌俳句篇、近現代詩篇の二冊より成る。二枚のCDを附し、安野光雅氏装丁の美しき箱入り。朗讀陣も豪華にて、和歌俳句篇には松本幸四郎氏、平井澄子氏、近現代詩篇には岸田今日子氏、橋爪功氏を配す。作品の選擇も秀で、一家に一冊備ふる價値十分にあると思料す。なほ、既に絶版になりて久しく、古書サイトの「日本の古本屋」にても入手は容易ならず。最近偶然ブックオフにて購入することを得たるは幸運なりき。